

生命の海科学館 ワークシート

1階

年 組 名前

けいかぼく 珪化木

これが水晶だよ！



珪化木は木かな？石かな？

一見ただの丸太のように見えるけど、その正体は木の化石です。

この化石には石の成分がところどころ水晶すいしょうに変わっているところがあります。

水晶すいしょうを見つけた場所に、○を付けてみよう！

インカクジラ

に記入してね。

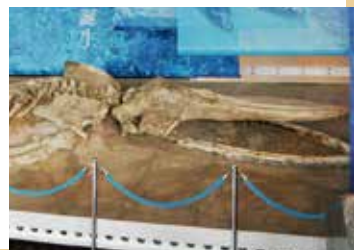


クジラは私たちと同じようにお乳を飲んで育つ 類るいです。

この化石は の砂漠さばくでみつかったヒゲクジラのなかまです。

口を大きくあけて海水をふくみ、上あごから生えていた を使って

小さな生き物をこしとって食べていました。



生物のうつりかわりと 化石

に記入してね。

およそ5億4000万年前から現在までを、古生代こせいだい、中生代ちゅうせいだい、新生代しんせいだいに分けることができます。

目の前のテーブルにはそれぞれの時代の代表的な生き物が並んでいます。

「いいな」と思った生き物の名前を書いてみよう。

こせいだい
古生代

ちゅうせいだい
中生代

しんせいだい
新生代



はっけん
発見したこと、ふしぎに感じたことを書いてみよう

ポイント

けいかぼく
珪化木

水にとけた石の成分がゆっくりにしみこんで化石となりました。年輪部分のすきまなどをよく観察すると、小さな水晶や紫水晶（アメジスト）を見つけることができます。

インカクジラ

クジラは海にすむ木乳類こじゅうるいで、歯をもつハクジラとクジラヒゲをもつヒゲクジラの二つのグループに大きく分けられています。この化石はペルーの約750万年前の地層から見つかったもので、2016年に新種のクジラであると認定され、インカクジラと命名されました。

時代を示す化石

地球上に目で見えるようなサイズの生き物が登場してから現在までを古い方から古生代こせいだい、中生代ちゅうせいだい、新生代しんせいだいと呼びます。「～代」はさらに細かく「～紀」に分けることができます。生物が大量に絶滅し、時代がうつりかわっていきました。

